
ロックンロールと終わる世界

藤森優斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ロックンロールと終わる世界

【Nコード】

N0050M

【作者名】

藤森優斗

【あらすじ】

今年に入ってからからのベストです。ちょっと詩書くの辞めようかな、って思っているので、最後に読んで欲しいです。

サンキュー・ミュージック

今まで僕を支えてきた歌詞達が、永遠に輝きます様に……。
今まで僕を助けてきたメロディーが、永遠に響きます様に……。

今も心で鳴り続けるロックンロール
世界が綺麗なら、皆が笑顔なら
少しは平和に見えるだろうに……。

未来の僕の為に、過去の僕の為に
絶望の光を、サンキュー・ミュージック
死にたがりの僕の為に、今の僕の為に
希望の光を、サンキュー・ミュージック

死ぬまで心は一生不安、助けようが無いよ
死ぬまで僕は普通に狂う、助けようが無いよ

今も心を痛め付ける情報化社会
世界は汚いし、皆は嘘つきだし
正常に狂って地球は回る。でも……。

嫌な世界の為に、嫌な生命の為に
絶望の光を、サンキュー・ミュージック
くだらない生活の為に、死んだ少女の為に
希望の光を、サンキュー・ミュージック

嫌な事なんか語りきれない程、積み重なった
何もかも捨てたくなるくらい堕ちていった
心の傷も手首の傷もあれからこんなに増えた

毎日が自殺予定日だって日記にも記した

でも、僕も彼女も今を生きているんだよ
死に事をずっと垂らして生きているんだよ

今も心で鳴り続けるロックンロール

世界に愛を、僕等に愛を

今、死ねない魔法を君にかけるよ

未来の君の為に、過去の君の為に

絶望の光を、サンキュー・ミュージック

死にたがりの君の為に、今の君の為に

希望の光を、サンキュー・ミュージック

いつまでも僕を救う希望の光を、サンキュー・ミュージック

今まで僕を支えてきた歌詞達が、永遠に輝きます様に……。

今まで僕を助けてきたメロディーが、永遠に響きます様に……。

ハローグッバイデイズ

「ハロー。ねえ、聞こえてますか？ 世界の終わりを迎える君達」

くだらない現代を乗り越える術を持ち合わせてると願おう

「ハロー。さあ、出掛けましょう。世界の終わりを探す生物達」

無差別に殺される生き物は僕等人類を恐れて生きています

手首切って見上げる星空

素敵な明日に出会えるように……。

ハローグッバイ 世界の人達

僕等は平和を唱えましょう

ハローグッバイ 世界の生物

僕等は仲良く暮らしましょう

「ハロー。聞こえてますか？ 世界の終わりを望む君達」

鳥の悲鳴も聞き慣れて、生命を食べて生きる人類よ

「ハロー。さあ、出掛けましょう。世界の終わりを夢見る人達」

虫を殺すのにも慣れた、僕等人類が向かうのは天国じゃない

今夜も命を食べて眠るだけ

素敵な未来に出会えるように……。

ハローグッバイ 世界の人達

僕等は平和を唱えましょう

ハローグッバイ 世界の生物

僕等は仲良く暮らしましょう

人類が巻き起こす『生活』という『戦争』だ

犠牲者は誰だろう？ 森の中から悲鳴が聞こえる
人類が巻き起こす『生活』という『戦争』だ
犠牲者は誰だろう？ 青い地球が悲鳴を上げてる

ハローグッバイ 世界の人達

僕等は平和を唱えましょう

ハローグッバイ 世界の生物

僕等は仲良く暮らしましょう

ハローグッバイ 生物を殺す『戦争』の日々

ハローグッバイ 人類を殺す『戦争』の日々

虹色シンフォニー

嘘を敷き詰めた世界に偽りの花束を
捧げる君の両手こそ嘘で黒く染まってる

ミサを終えた僕達は偽りの賛美歌を
唱える君の美声こそ嘘で黒く染まってる

世界中が僕の為に回っている訳じゃない
もし僕が死んだって、世界は何も変わらないだろ

素晴らしい日々

鳥の悲鳴が示す警告

戦争を続けて成り立つ世界……。

僕等の虹色シンフォニー

地雷敷き詰めた世界に幸せの音楽を
奏でる歌い人、血を吐いて世界を讃える

素晴らしい日々

子供の涙が描く警告

殺人事件にも馴れた世界……。

僕等の虹色シンフォニー

We who live in the days of the
rainbow color.
I was used to watching a warm
ovie.

"The shield of the child"

Is it preciousness of the life?
I do not recognize the world.

(虹色の日々を生きる僕達。戦争映画を見る事にも馴れたんだ。
『子供を盾にする』それが命の尊さか？ 僕はそんな世界を認めない。)

素晴らしい日々

世界の涙が示す警告

ありふれた景色が広がる世界……。

僕達の虹色シンフォニー

Will it be "world peace" to recognize the world?
The world does not become so peaceful throughout the life.

(世界を認める事が『世界平和』ですか？ そうなら、世界は一生平和にはなれない)

素晴らしき世界の終わり

ああ、小学生が病気で死んでしまう そんなドラマでも泣かなくな
った

ああ、孤独な夜に綺麗に輝く星空も 今はもう嘲笑う様に見えてし
まう

生き物が背負う生命とは

美しいモノだったはずなのに

なあ、なんで苦しむ事に必死なんだ……。

ああ、犯罪者達が暮らす暗い監獄 膝を抱えて暮らす彼も一緒だろ

……。

ああ、存在意義さえも答えられないなんて愚かな存在する者だろ

……。

世界が願う平和には

彼女は含まれるのだろうか？

なあ、平等という嘘を敷いてまで……。

人類は本当に平和を願うのだろうか

人類は本当に世界を想うのだろうか

ああ、目の前で飛び降りた少女 救いようの無い姿に救われた

ああ、感情の偽りに下敷きとなるなんて生きにくい世界なんだ……。

世界が背負う生命とは

悪意の塊ではないのだと

なあ、証明出来る言葉が欲しい……。
それすら出来ない生命の意味が欲しい……。

素晴らしき世界の中

生命が全滅する事 それが世界の終わりじゃない

素晴らしき世界の中

生命は平等なる者 それが世界の終わりじゃない

素晴らしき世界の中

生命が背負う孤独 それが世界の終わりじゃない

素晴らしき世界の中

生命達の存在意義 それが世界の終わりなのだろう……？

存在する意味とは、全世代の生命に問う

『世界平和の意味は何？』

これは素晴らしき世界からの警告だ

Girls Killed me

冷たい冬の空、コーンポタージュの缶を両手で抱える少女
綺麗な星空に向け「みんな死ねばいい……」と呟いた

ギャップのある姿に僕は惚れていた
今にも消えそうな背中を眺めていた

厳しい時代の中、両親の離婚にも慣れてしまった少女
気弱な僕に向け「愛情なんてゴミね」と呟いた

夢の無い言葉が僕の心臓に響いた
夢にも見た死んだ目に僕は惚れていた

狂ってるのは彼女なのか、それとも世界なのか
選択肢なんて要らない。僕は迷わず世界を恨むよ
僕だって友達がいない居場所が無い
彼女だって希望が無く居場所が無い

似た姿に惚れていた
共に世界を恨む覚悟は出来ている

Girls killed me .
共に居場所が無い僕等、まるで一心同体の様で……。
Girls killed me .

自殺願望を抱える僕等、まるで一心同体の様で……。

冷たい冬の空、「死にたい……」と言った少女は何処かに消えた
居場所が無い僕を残して、世界を恨んだ僕を残して……。

G i r l s k i l l e d m e

一人居場所が無い僕は、殺された腐乱死体の様で……。

G i r l s k i l l e d m e

自殺願望を抱える僕は、彼女に殺された心を持って

今日も一人、世界を恨む

居場所が無い世界を恨むよ……。

最後の命

部屋が光る春の日々、桜の協奏曲

心臓の悪い少年は花びらと共に散っていく

黄色い月が笑う夜、星空の鎮魂歌

精神が弱い少女は流れ星と共に消えていく

眠れない夜に願う事

毛布の中、命の最後を見つめる

『終わる』事が分かつてるから
それがどうしても怖いんだ

ボロい病院の一室、点滴のメトロノーム
明日を夢見る彼女は幻となって夢に出る

眠れない夜に願う事

暗闇の中、命の最後を見つめる

『終わる』事が分かつてるから
人は『死』を考え朝を見る

The end of World.

We stop breathing and wait.

When life is over, I will feel
nothing.

Because I looked forward to
the end."

(世界の終わり。僕等は息を止め待つ。

命が終わる時、僕は何も感じないだろう。
だって『終わり』を待ち望んでいたから。
)

眠れない夜に願う事

手首にナイフ、命の最後を見つめる

『終わり』が分かってるのに

何で、僕等は『死』を求めるの……。

命の最後に願う事

『もう一度生きたい』でも『ありがとう』でもない

ただ何も感じない神経への鎮魂歌

『終わり』は分かっているのだから、それが怖い

音楽は娯楽じゃない

『友情は素晴らしい』と教える先生方には失礼ですが……。僕が好きなあの子は先生が見てない所でイジメられてます死ねよ！ あの子をイジメる奴らは死ねよ！ 何もしてあげられない僕だつて……。

温かい陽の光が『気持ち悪い……』つて呟いて鼓膜から離れない、頭が狂っていく
ああ、偽りの愛を綴るラブソング、頼むから消えてくれ……。つてか、死ね！ 死ねよ！ 死んじまえよ！

音楽は娯楽じゃない！ 音楽は娯楽じゃない！
俺を救ったロックンロール、聴こえないお前が可哀相さ
音楽は娯楽じゃない！ 音楽は娯楽じゃない！
俺が綴ったロックンロール、鼓膜を破るくらいの衝撃を……。

『恋愛こそが人生』という女子高生は特に嫌い
ブスが汚ねえ化粧して茶髪の奴とハメ外す
死ねよ！ 浮かれた高校生達は
死ねよ！ イジメられっ子の気持ちを知らないだろ？

桃色に頬を染めた可愛い女の子がずぶ濡れさ
バケツの水は少女に……透け透けのブラウス
放たれた言葉のナイフは少女を殺して……。
つてか、何？ お前らは何なんですか？

ふざけんな！ ふざけんな！
もう嫌になっちゃうぜ……死ねよ、ブス

ふざけんな！ ふざけんな！
何がなんだかわかんねえ……死ねよ！

『音楽が世界を変える』って俺はずっとそれを信じています
だからブスが聴くクソ曲が世界に響く意味がわかんねえ！
もう、死ねよ！ 音楽は甘い戯言の為に鳴ってんじゃねえ……。
もう、死ねよ！ 音楽はてめえの為に鳴ってんじゃねえ……。

世界の為に鳴ってんだ
世界を壊せるロックンロールだ！

音楽は娯楽じゃない！ 音楽は娯楽じゃない！
俺を救ったロックンロール、厚化粧ブスには聴こえねえ
音楽は娯楽じゃない！ 音楽は娯楽じゃない！
俺を救ったロックンロール、イジメられた少女の頭に響く

クソ曲ばっか出回る時代でも、光の音楽がありますように……。
厚化粧ブスが堕ちた底に、光の音楽が鳴りますように……。

十二月の生命

満点の星空が広がる十二月の夜

「皆死ねばいい」と呟いた少女

世界を恨む小さな瞳に僕は惚れていた

背中越しから伝わる少女の温もり

それは『生命の美学』の様な温度

世界を恨む細身な体に僕は惚れていた

夢の中で君に出逢えたら

僕の想いを全て伝えたい

生まれたての姿で、裸の気持ちを持つて

僕は夢で君を犯したい

純粋な嘘が敷かれた時代の中

「私是要らない」と呟いた少女

世界を恨む可愛い声に僕は惚れていた

B r i g h t 2 0 0 9 .

S h e b e c a m e a s t a r o f D e c e m b e r .

T h e b e a u t i f u l n i g h t w h e n t h e w

o r l d s e e m s t o b e o v e r .

T h e s h o o t i n g s t a r f a l l s l i k e t

e a r s .

(輝かしい2009年。彼女は十二月の星になった。

世界が終わりそうな綺麗な夜。流れ星は涙の様に落ちていく。)

夢の中で君に出逢えたら
偽りのキスを交わしたい

十二月の星空の下、裸の気持ちを持って
僕は夢で君を犯したい

I hide, advocate words of them
agile that she muttered.
It seems to be splendid
etics of the life". aesthetic

（僕は隠れて、彼女が呟いた魔法の言葉を唱える。
それは素晴らしき『生命の美学』の様だ。）

世界を恨む小さな背中に僕は惚れていた
十二月の星空の下、彼女に惚れていた

永遠に響く鐘のように

殺人事件にも驚かない無関心な現代に
結婚式の鐘の様に、鳴り響く音がある
テロリストでも戦争映画で涙を流す
死刑囚の願いの様に、鳴り響く音がある

正常な精神なんか無くした世界なのに
どうして、堕ちても生きる僕等がいるのか

それは、今も此処であの名曲が永遠の鐘の様に鳴り響いているから
腐っても、狂っても、疲れた僕等の心が死んでしまう事を許さない

そんなブルース

そんなロックンロール

そんな名曲達が響いている

スクランブル交差点の大画面から流れるラブソングなんか
世界には響かない、戦争中の僕等の心には響かないよ
もっと、もっと、もっと、平和と向き合う讃歌を、僕等を救う讃歌を
生命が繰り広げる戦争の終焉を知らせる様なラブソングを

僕等は聴きたいんだ

この世界は聴きたいんだ

それは、過去に僕を助けた様な正面から生命を肯定してくれる名曲で
何十年も、何百年も、この先永遠に鳴り響く名曲達だ

そんなブルース

そんなロックンロール

そんな名曲達が聴きたいんだ

僕等はその名曲が聴きたいんだ

世界にその名曲を聴かせたいんだ

虹色の唄

『死んだ』世界が見れるなら彼女は何をするのだろうか
屋上から見渡す世界も綺麗な景色に見えるのかな

『死んだ』未来が見れたなら彼女は何をしたのだろうか
切り刻んだ手首も心に傷を残して治るのかな

自殺癖がある彼女を救う魔法をイマ唱えるよ
屋上で見た茜空の様に、『生命の美』を、光る愛を

生命すべてが抱える憎しみの唄
だから世界に音楽は鳴り止まない
僕達が殺していく鳴き声の唄
だから世界に音楽は鳴り止まない

『綺麗』な世界に住めたのなら何を思うだろう
黒く染まった心は真っ白に循環するかな
『綺麗』な世界を見れたのなら何を思うだろう
屋上から眺める景色、本当に綺麗なのはどっちかな

情けない精神の僕を救う魔法をイマ唱えるよ
死んだ友達が教えてくれた『生命の美』を、光る愛を

生命すべてが抱える悲しみの唄
だから世界に音楽は鳴り止まない
僕達が鳴らしていく悲鳴の唄
だから世界に音楽は鳴り止まない

自殺した少女は何も聴こえていなかったただけ

眺めていた僕が何も鳴らさなかっただけ

もう、死なないで

イマ君に死ねない魔法を唱えるよ

生きる希望と絶望を綴る詩を届けよう

生命すべてが鳴らし続ける

生命すべてに聴こえ続ける

虹色の唄を……。

自殺願望を抱える少女へ

これは君を苦しめる魔法の唄だよ

世界に立ち向かう、それが難しいから

世界に音楽は鳴り止まない

子供達の戦争

古びた建物に迷い込んだスズメは最後、子供達の好奇心に殺される世界に馴染めない彼女は眠らずに朝と出会い、刑務所からはイビキが聞こえる

頭が悪い君達には、僕の詩の意味も届かないんだね

頭が悪い君達には、僕の詩の意味なんて……死んでくれ！

腐ったフランスパンを凶器にして、清楚な小学生を異世界へ送ろう
イジメられてる少女の言葉は遮断され、有りもしない嘘が自由に駆け回る

頭が悪い君達には、少女の気持ちなんて分からないんだね

頭が悪い君達には、少女の気持ちなんて……死んでくれ！

屋上に立った少女をUFOが迎えに行くよ
真っ黒に輝く希望のUFOが迎えに行くよ

学校という戦場に送り込まれた子供達は、友情と愛情の毒にやられ
言葉の凶器を振りかざすバトルロワイヤルと化していくのでした……。

頭が悪い先生達には、子供達の繊細な想いも届かないんだね

ライフルを抱えた少年と携帯を握る女子高生、どうして同じ世界に
生まれたんだ

文化の違いはあれど、発展の違いはあれど、同じ生命を貰ったのだ

戦場で戦う意味を問う

学校も戦争も誰が『大切』だって教えたのですか？

矛盾と難題の果てに広げられる、子供達の戦争

戦争を行う価値を問う

少年も少女も誰もが『大切』だって

教えたのは貴方達、大人でしょう？

頭の悪い君達と、頭の悪い僕達は、戦いを繰り返して

カミソリを握った少女をUFOが迎えに行くよ

世界を愛した病気の少女をUFOが連れて行くよ

だから『ロックンロールだ』って言うてんだろっ！

厚化粧の女子高生が教室で流す、一つも泣けないラブソング
何が面白いのですか？ 何が為になるのですか？
ってか、音楽って携帯で聴くもんじゃなくね？

つまらないゴールデンタイム、音楽番組は今日も同じ奴ら
何が面白いのですか？ 何が為になるのですか？
ってか、聴きたくないのに聴き飽きたんですけど

キレんなよ、女子高生

『衝撃』って言葉知らないんだろ？
だから、俺は学園祭のステージ
ギター壊して、血を流したのです

クソみたいな音楽だ
クソみたいな音楽が世界に流れてる
クソみたいな音楽だ
クソみたいな音楽が世界を汚してる

『永遠の愛』なんて歌う勘違い歌手達よ
それって何だか分かってんの？
永遠の愛、とは要するに
共に亡くなるって事なんだよ

怖いから、知らないから
そんな言葉が言えないのだろう
怖いから、知らないから
綺麗事で愛を語るだけだろう

クソみたいな音楽だ

クソみたいな音楽が世界に流れてる

クソみたいな音楽だ

クソみたいな音楽が世界を汚してる

嘘を綴ったラブソングがメディアを埋め尽くす現代は

そう、屋上で泣いている少女を救えない酷い世界

大衆が腐った五感で感じ取るラブソングなんか要らないのさ

今こそ、旗を掲げろよ！　なあ、いつだって時代を変えたのは

あの衝撃のパンクス、衝撃のブルース

衝撃のロックンロールだっ！

失恋して泣いてる女子高生　根本から救うのは、あの音楽

屋上で泣いている少女達を　世界に立たせるのは、あの音楽

だから、ロックンロールだよ

それが、ロックンロールだよ

2010年、狂いかけた世界と音楽チャートに喝を入れるのは

だから『ロックンロールだ』って言うてんだろっ！

迷子のティーンエージャー

『人の話を真面目に聞けない』と先生は僕に注意をするけど
『自分の事はしっかり言いなさい』とお母さんは僕に怒鳴るけど

90年代、越えて

2000年から、新世紀から

誰か『僕の話』をちゃんて聞きましたか？

『コミュニケーション、それが一番大切だ』と社長がおっしゃります
『だからどうして、君は素直に頷けないんだ』とか

90年代、無くして

2000年から、新世紀から

僕達を育ててきたのは誰だと思ってますか？
この時代を造ったのは誰だと思ってますか？

そうです

貴方達、大人だよ

ネオン街を見下ろす少女の人生

その台本には『死にたい……』って台詞が多過ぎる

誰が悪いのですか？ こんな生きにくい世の中は……。

誰が悪いのですか？ こんな辛くなる世の中にしたのは……。

貴方達です

『政治経済の未来は暗い』ってガキが見ても分かる時代
『世界を変える』事を願う我が国のヒットチャートは……。

90年代、越えて

2000年から、新世紀から

上辺だけのラブソングが占めている

何度か起きた革命も、我が国の『時代』が消し去っていく

だから、だろ？

あんたら、だろ？

あの時、革命を起こした音楽を

また、この時代にも光の『革命』を

ラブソングを口ずさむ女子高生の人生

あまりにもつまらない『愛してる』で溢れてる

何が良いのですか？ 大人に嫌われた若者達よ

何が良いのですか？ 大人を嫌った若者達よ

この世界の、この時代の

一体、何が良いのですか？

新しい世代に期待を与えず罵った大人達よ

失われた世代の僕等をそれでも社会に出させるのだろう？

話を聞かなかったのは、あんたら大人達でしょ？

世界を壊すな、世代を殺すな

革命を起こしてきたのは

いつでも、迷子のティーンエイジャー

だから、2010年に迷い込んだ僕達が起こそう

大人達の世界を壊す、新しい『革命』を

2010年に迷い込んだ僕達が起こそう

失われた世代からのメッセージ、それを添えた『革命』を

大人達の世界を

嘘だらけのヒットチャートを

時代が殺した、この世代を

全て塗り替える『革命』を……。

終わる世界

ゆっくり眠って目覚めた朝、陰鬱とした気の月曜日

弁当箱だけ入れたバツク、今週も通う学校への嫌なロード

五年前からすっかり消えた『友達』という名のロープは
いなくなったくせに僕の首を絞めては見て見ぬ振りだ

今日も希望なんて持たないまま、この席で寝てるだけさ
僕が存在してる事自体、法律に引っ掛かってんじゃないの？

『居場所が無い』なんて、もう聞き飽きた独り言
締め付けるロープを切って、僕は暮らす、ただ終わる世界

行方不明になった女子高生、インタビューで泣く母親へ
必死の搜索活動も虚しく、こういうケースって大体死んでるよ……。

悲しいよね、ニュースで流れる未成年の笑顔程
苦しいよね、報道を見て少し高鳴る鼓動がさ

とにかく、憎いんだ……。

『行き場が無い』なんて、当たり前前の片想い
時代に縛られたくないから

学校なんか行きたくない
大人の話は聞きたくない

切り返される怠い日常、非常口は開けっ放しなのに

出て行かない、何故、出て行かない

憎いんだよ！ 憎いんだよ！ ただ構ってほしただけなんだ……。寂しいよ……。寂しいよ……。一人にしないで……。一人にして……。

あの子が生きていく世界が素晴らしいモノだとするなら
僕が生きてきた世界なんか、ただ終わっていくだけの世界

でもね

誰だってそうでしょ

ただ終わっていくだけの世界の中
生命が美しいと思いたい

あかね空と明里ちゃん

孤独感の塊、窓際の席で授業中、君をずっと見つめているよ
ストーリーカーでも変態でもない。僕は可愛い君が大好きなのです！

幽霊同然の僕が落とした消しゴムで始まるサッカー

クラスの中では僕という人間よりも消しゴムの方が勝る存在感

ねえ、クラスの男子共

君達が憧れる加奈子ちゃんのリコーダー

僕は放課後の教室、夕日に包まれ舐めてみたよ……。

『死ぬ』ってカラフルにデコレーションされた僕のノート達

『死にたい』って無色に刻まれた動く気配のない僕の心

ねえ、クラスの女子共

君達が着替えるプールの更衣室

仮病で休んだ僕はこの目で……見ていたよ。

あかね色の空の下

何か壊したい衝動と何かに愛されたい寂しさ

授業中、僕が落とした消しゴムの行き先は君の足元

拾う時に見えた白いパンツより、本当に可愛い君の笑顔が……

何よりも、何よりも、何よりも、嬉しかった。

ねえ、最悪なる明里ちゃん

君を想って動かす右手に少しの迷いがあるよ

大きくなった僕の股間と、膨らむばかりの想い

ねえ、明里ちゃん

僕はちゃんと生きてるよね？

ねえ、明里ちゃん

僕は君の目に映ってるよね？

結婚式DESTRUCTION

幼稚園からずっと一緒にいた近所の女の子が街を出ていった
冷めたフリして電車の出発時刻、走って追い掛けたのだ

行かないで、行かないで、僕は君が大好きなのです
行かないで、行かないで、君がいないと死んでしまいます……。

放課後の帰り道、愛しい君を見掛けたのだけど
野球部の坊主野郎と手を繋いで歩いていました

殺してやる、殺してやる、野球部の頭力チ割って
殺してやる、殺してやる、あの子に近付いてんじゃねえよ……死ね！

高校の卒業式から三年経って、結婚式の招待状が届きました
高校の卒業式から変わらない僕に結婚式の招待状が届きました

野球部よ、悪く思わないでくれ
僕は貴様よりも、あの子が本気で好きなだけ……。

結婚式DESTRUCTION
君を連れ去って、新郎もろとも抹殺してやるのさっ！

結婚式DESTRUCTION
君を連れ去って、親族もろとも抹殺してやるのさっ！

結婚式DESTRUCTION
僕は君を本気で愛しているのだから

結婚式DESTRUCTION
君を連れ去って、世界もろとも抹殺してやるのさっ！

結婚式DESTRUCTION
結婚式DESTRUCTION

僕と結婚しようよ

子供VS大人が作り出した時代

『イジメをする奴が悪者』って教えてくれたのは先生達ですがそれもちよつとしたイジメですよ。『悪者の気持ち』を知っているのですか？

頭が悪い奴は社会にいらなんだって、社長がキレてるよ
だったら偏差値30以下の奴は全員殺しちゃえばいいじゃん？

老人さ、老人ばかりが生きていく時代さ

時代を担う世代より、役目を終えた世代が大事
決めちゃえばいいんだよ『人類は60歳で終わり』

時代の流れに殺される……。

子供が流す孤独の涙は、未来が負った傷口からの出血

『世間からはみ出した奴は駄目』って決め付けたのは大人達ですが
僕の事を相手にしてくれないのは、他でもないアンタ達大人ですよ

処刑台、この時代は一步間違えたら終わりさ

ボケてる老人を救って、戦場の子供達は死んでいく
それが『平和』な世界ですか？ 期待なんてしてくれない……。

時代の流れに殺される……。

ロックンロールが吐き出す想いは、寂しさと憎しみのサイレン

生きにくいな……生きにくいな……

何処に居たって死んでしまうな……

生きにくいな……生きにくいな……

何処に居たって死んでしまふな……

何だ、そうさ、何もないよ、僕達は。アンタは期待しないから弾けたバブルも知らないさ、一人で生きる事も知らないさ
インターネット、ツイッター、一人になんてなれない時代
繋がってるよ、怖いほどに、そうしたのだから大人じゃないか……。

子供VS大人が作り出した時代

僕は死ぬ

子供VS大人が作り出した時代

僕は殺される

子供VS大人が作り出した時代

僕は首を吊る

子供VS大人が作り出した時代

はりめぐる情報の糸で

小説家になろう

普段、記す事なんか日記かブログだけの時代

それだって、消えるぜ。悪質ユーザーと燃えるゴミ

音楽はいつだって、君への想いを吐き出してる

それだって、無味な時代。誰も歌詞なんか読みませんよね

感情を、感情を、感情を失った君達が

完成へ、完成へ、完成へ進んで、死ぬまでの話

普段、面白くもない自己満足を綴る日々

それだって、誰かの想いと繋がる無線ケーブル

感傷的、感傷的、感傷的で落ち込む僕等は

孤独から、孤独から、孤独から、逃げたくて起動するインターネット

37

何も面白くない人生を避けて、物語を綴る私達

思い描いても、思い描いても、上手くいかない

それが一番面白いんじゃないのかね

人生を綴る、小説家になろう

感情を、感情を、感情を失った君達が

完成へ、完成へ、完成へ進んで、死ぬまでの話

物語は物語で、君の世界はこっちだよ

物語は物語で、君のリアルは此処だよ

全てが小説だけじゃない、人生を綴れる奴が小説家です

To the sexless

僕の欲望は何億光年、穴の空いた世界にプラグイン
寂しさはいつまでは、此処に、個々に、降り積もるぜ

君の欲情は何億光年、輝く星よりもダイヤモンド
憎しみはいつまでも、此処に、個々に、鳴り続けるぜ

満たされない、2010年と経済と膾
中で弾ける白濁を頂戴……。
情けをぶら下げる世界とイク

I'm nothing..
あの子の中へ、世界の核へ
繋がりが足りない…… ああ、世界と僕等はセックスレス

シーツの染みは愛情の証、時代に刻んだ革命の夜
悲しみはいつまでも、此処に、個々に、染み渡るぜ

汚されたい、2010年と純白な天使
黒ずんで見えない最前線
純粋な少女は居場所を無くして……。

I'm nothing..
あの子の中へ、世界の核へ
繋がりが足りない…… ああ、世界と僕等はセックスレス

誰もが満たされない、欲望を抱えて息をして
世界は満たされない、欲望を抱えて流れていく

I'm nothing...

あの子の中へ、世界の核へ
繋がりが足りない……ああ、世界と僕等はセックスレス

I'm nothing...

あの子の中へ、世界の核へ
繋がっていたい……繋がっていたい……。

純粹な少女の中へ……。

汚れた癖して潔癖な世界へ……。

ああ、この寂しさは……。

ああ、この憎しみは……。

ああ、この悲しみは……。

世界と僕等はセックスレス……。

愛情を忘れて、セックスレス……。

ロックンロールと終わる世界

ロックンロールと終わる世界

星空が大好きだった少年がアスファルトで眠る頃

女子高生を誘拐し殺した犯罪者は薄いながらも布団の中で夢を見る

ロックンロールと終わる世界

先生になる事が夢だった少女が地雷で粉々になった頃

深夜二時、首都高沿い安いラブホテルで

限界を迎えた恋人達が快楽に浸る

そんな素晴らしい世界

誰かが口にした

”素晴らしい世界”

ロックンロールと終わる世界

自動車が走る道路の端、羽を折ったハトが息絶える頃

居場所を無くした青年達は河川敷のホームレスを殴る

学校帰りの学生を脅して金を巻き上げる

ロックンロールと終わる世界

純粹で可愛い彼女が屋上、手摺りを越えて風に吹かれる頃

濡れた桃色の挿入口から白濁を垂らす女性

スーツを着込む男性を見てセフレだったと理解する

そんな素晴らしい日々

誰もが口にした

”素晴らしい日々”

ロッキンロールと終わる世界
”死にたい、死にたい”と呟く中学生
毎日毎日、呟いている

ロッキンロールと終わる世界
”生きたい、生きたい”と嘆く重病患者
明日の夕方には、もういない

なんて素晴らしい世界だろう
白から黒、どんな色もある
なんて素晴らしい世界だろう
生から死、ちゃんとオチがある

ロッキンロールと終わる世界
ああ、素晴らしい世界だろ・・・
ロッキンロールと終わる世界
ああ、素晴らしい世界だろ・・・

ロックンロールと終わる世界（後書き）

今までありがとうございました。コメントとか待ってますよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0050m/>

ロックンロールと終わる世界

2010年11月4日10時03分発行